

2027年度

大学院入学試験要項

工学研究科

設置キャンパス：名古屋

機械システム工学専攻【修士課程】

電気電子工学専攻【修士課程】

工学専攻（機械システム工学領域）【博士後期課程】

工学専攻（電気電子工学領域）【博士後期課程】

設置キャンパス：豊田

情報工学専攻【修士課程】

工学専攻（情報工学領域）【博士後期課程】

2027
CHUKYO UNIVERSITY

目次

・入学者受入れの方針	p. 2	Ⅲ 受験・合格発表・入学手続等	
・個人情報の取扱い	p. 3	1. 受験票の受取り	p. 16
I 入学定員・入試日程・出願資格・試験科目等		2. 試験当日の注意事項（持ち物含む）	p. 16
1. 入学定員と試験区分（選抜方式）	p. 4	3. 合格発表（可否通知発送）	p. 17
2. 入試日程	p. 4	4. 入学手続	p. 17
3. 出願資格	p. 6	5. 入学試験の成績開示	p. 17
4. 研究指導希望教員との事前面談	p. 7	Ⅳ 学費・経済支援等	
5. 選考方法	p. 7	1. 学費等	p. 18
6. 試験科目・時間・配点等	p. 8	2. 経済支援等	p. 18
7. 試験当日集合場所・時間	p. 10	Ⅴ 教員組織	
Ⅱ 出願書類・出願方法等		・教員組織	p. 20
1. 出願書類	p. 11		
2. 出願方法・出願上の注意事項	p. 14		

入学者受入れの方針

■ 中京大学大学院全体

中京大学大学院は、建学の精神及び中京大学の理念並びに学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針を踏まえ、社会の発展に貢献できる研究者を育成していきます。本大学院では以下に示す意欲と能力を持つ人を広く求めています。

博士前期課程及び修士課程

【知識・技能】

1. 論理的な文章を作成する能力を有している。
2. 専攻分野における学士水準の基礎的な知識を有している。
3. 外国人留学生は研究を遂行する上で必要な日本語能力を有している。

【思考力・判断力・表現力】

1. 現代の社会が直面する諸課題について専攻分野の視点から思考することができる。
2. 専攻分野における諸課題に対して、自らの問題意識を整理しわかりやすく他者に伝えることができる。

【意欲・態度】

1. 研究に真摯に取り組み、社会に貢献する志を有している。
2. 自ら設定した研究課題について、主体的に研究を遂行する意欲を有している。
3. 教員及び他の学生とのチームワークを大切にしながら切磋琢磨することができる。

博士後期課程

【知識・技能】

1. 専攻分野における修士水準の高度な知識を有している。
2. 専攻分野における修士水準の研究手法を身に付けている。
3. 外国人留学生（日本語による授業を受ける人）は博士水準の研究を遂行する上で必要な日本語能力を有している。
4. 外国人留学生（英語による授業を受ける人）は博士水準の研究を遂行する上で必要な英語力を有している。

【思考力・判断力・表現力】

1. 現代の社会が直面する諸課題について専攻分野の視点から思考し、その解決に向けた計画を立案することができる。
2. 自らの研究成果を明確かつ説得力をもって他者に説明することができる。

【意欲・態度】

1. 研究者としての倫理観と責任感を備え、社会に貢献する志を有している。
2. 自ら設定した研究課題について、自立して持続的に研究を遂行する意欲を有している。
3. 教員及び他の学生とのチームワークを大切にしながら切磋琢磨することができる。

各研究科・専攻は「養成する人材像」「教育研究上の目的」に基づき、上記の「中京大学大学院における入学者受入れの方針」を踏まえた「入学者受入れの方針」を定めるとともに、入学試験要項において、方針を具現化した出願資格、選抜方式及び試験科目等を示している。

■ 工学研究科

工学研究科は、修士課程においては「機械システム工学専攻」「電気電子工学専攻」「情報工学専攻」の3専攻を設け、博士後期課程においては「工学専攻」を設けて学生を募集する。「教育研究上の目的（人材養成の目的）」にある人材を輩出するため、以下のような能力と意欲ある人を広く求め、受け入れる。

修士課程

1. 工学全般にわたる基礎知識と研究方法の基本を修得している。
2. 現代の人間及び人間社会が直面する諸課題について問題意識を持ち、工学に関わる研究者・技術者が果たす役割を理解している。
3. 技術者あるいは研究者としての自覚を持ち、社会に貢献する志を有している。
4. 研究課題について、主体的に研究を遂行する意欲を有している。
5. 論理的な文章力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を有している。

機械システム工学専攻

1. 機械システム工学にかかわる基礎知識と研究方法の基本を修得している。
2. 現代の人間及び人間社会が直面する諸課題について問題意識を持ち、工学に関わる研究者・技術者が果たす役割を理解している。
3. 技術者あるいは研究者としての自覚を持ち、社会に貢献する志を有している。
4. 研究課題について、主体的に研究を遂行する意欲を有している。
5. 論理的な文章力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を有している。

電気電子工学専攻

1. 電気電子工学にかかわる基礎知識と研究方法の基本を修得している。
2. 現代の人間及び人間社会が直面する諸課題について問題意識を持ち、工学に関わる研究者・技術者が果たす役割を理解している。
3. 技術者あるいは研究者としての自覚を持ち、社会に貢献する志を有している。
4. 研究課題について、主体的に研究を遂行する意欲を有している。
5. 論理的な文章力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を有している。

情報工学専攻

1. 情報工学にかかわる基礎知識と研究方法の基本を修得している。
2. 現代の人間及び人間社会が直面する諸課題について問題意識を持ち、工学に関わる研究者・技術者が果たす役割を理解している。
3. 技術者あるいは研究者としての自覚を持ち、社会に貢献する志を有している。
4. 研究課題について、主体的に研究を遂行する意欲を有している。
5. 論理的な文章力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を有している。

博士後期課程

工学専攻

1. 工学全般にわたる知識と、特に自身の専門領域における専門的知識・技能を修得している。
2. 現在の人間及び人間社会が直面する諸課題について問題意識を持ち、工学に関わる研究者・技術者としてその解決に向けた計画を立案している。
3. 自ら設定した課題について、自立して研究活動を遂行する意欲を有している。
4. 研究者としての倫理観と責任感を備え、社会に貢献する志を有している。
5. 新技術等を提案・発表するために必要な論理的な文章力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を有している。
6. グローバルな視点での情報収集と発信に不可欠な英語運用能力を有している。

個人情報取扱い

- ① 出願書類に記入された住所・氏名・その他個人情報については、合否結果通知及び合格者・入学手続者への各種案内の発送に利用します。
- ② 大学が業務を委託した会社に、個人情報の全部又は一部を提供します。目的以外の用途に使用することはありませんので、予めご了承ください。

I. 入学定員・入試日程・出願資格・試験科目等

1. 入学定員と試験区分（選抜方式）

研究科	専攻	課程	試験区分（選抜方式）※	入学定員
工学	機械システム工学	修士	一般・卒業生特別・学内特別選抜	14名
	電気電子工学	修士	一般・卒業生特別・学内特別選抜	14名
	情報工学	修士	一般・卒業生特別・学内特別選抜	8名
	工学	博士後期	一般・社会人・学内特別選抜	4名

※同一日程における複数の試験区分の併願はできない。

学内特別選抜については別冊子『2027年度中京大学大学院【学内特別選抜】入学試験要項』を参照してください。

2. 入試日程

日本人・外国人（留学生以外）・日本国内在住の外国人留学生対象*

*日本国内在住であっても、2027年3月10日までに在留期限が切れる者、もしくは「留学」以外の在留資格から「留学」への資格変更を希望する者は含まない（該当者は下記の日本国外在住の外国人留学生対象の日程で受験すること）。

日程	専攻	課程	試験区分	出願期間※1 最終日消印有効	試験日※2	合否通知 発送日	入学手続締切日※3 消印有効	入学辞退手続 締切日 必着
前期日程	機械システム工学	修士	一般	2026年 6月8日（月） ～ 6月17日（水）	2026年 7月3日（金）	2026年 7月16日（木）	【第一次入学手続】 2026年 7月27日（月） 【最終入学手続】 2027年 3月9日（火）	2027年 3月31日（水）
	電気電子工学				7月4日（土）			
	情報工学				7月4日（土）			
	機械システム工学	卒業生特別	2026年 7月4日（土）					
	電気電子工学							
	情報工学							
工学	博士後期	一般 社会人	2026年 7月4日（土）					
後期日程	機械システム工学	修士	一般 卒業生特別	2027年 1月5日（火） ～ 1月15日（金）	2027年 2月2日（火）	2027年 2月16日（火）	【入学手続】 2027年 3月9日（火）	
	電気電子工学							
	情報工学							
	工学	博士後期	一般 社会人					

日本国外在住の外国人留学生対象* *…日本国外に在住する外国人かつ本学大学院入学時に在留資格「留学」を得る予定である者

日程	専攻	課程	試験区分	出願期間※1 最終日消印有効	試験日※2	合否通知 発送日	入学手続締切日※3 消印有効	入学辞退手続 締切日 必着
前期日程のみ	機械システム工学	修士	一般	2026年 6月8日(月) ～ 6月17日(水)	2026年 7月3日(金)	2026年 7月16日(木)	【第一次入学手続】 2026年 7月27日(月) 【最終入学手続】 2026年 11月10日(火)	2027年 3月31日(水)
	電気電子工学				7月4日(土)			
	情報工学				7月4日(土)			
	機械システム工学		卒業生特別					
	電気電子工学							
	情報工学							
	工学	博士後期	一般 社会人		2026年 7月4日(土)			

※ 1 …出願期間の平日(9:00~17:00)は、教務センター(大学院事務担当)窓口での出願受付可。詳細は、P.14を参照すること。外国在住の方で日本国外から出願する場合は、出願期間前の受付可。事前に教務センター(大学院事務担当)に相談すること。

※ 2 …修士課程一般選抜受験者で1日目(初日)の試験を欠席した場合は、2日目の試験を受験することはできない。

※ 3 …入学手続の概要は以下のとおり。

- 【第一次入学手続】 入学金の納付のみ
- 【最終入学手続】 授業料等の納付及び入学手続書類の送付
- 【入学手続(後期日程)】 入学金・授業料等の納付及び入学手続書類の送付

3. 出願資格

修士課程

試験区分	出 願 資 格
<p>一般選抜</p>	<p>次の①～⑩のいずれかに該当する者又は2027年3月31日までに該当する見込みのある者。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者 ②独立行政法人大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者 ③外国において学校教育における16年の課程を修了した者 ④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者 ⑤我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者 ⑥外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る）において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者 ⑦専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者 ⑧文部科学大臣の指定した者 ⑨学校教育法第83条に規定する大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む）で、本研究科において、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認められた者 ⑩本研究科において、個別の入学資格審査により、学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者 <p>【出願資格審査について】 出願資格⑥⑨⑩による出願を希望する（本研究科において出願資格を審査する必要がある）場合は、出願開始日の2か月前までに教務センター（大学院事務担当）まで問い合わせてください。 対象者（例）…飛び入学による出願希望者 短期大学・高等専門学校・各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者 外国の大学その他外国の学校で修業年限3年の課程修了者 等</p> <p>〈外国人留学生のみ〉 上記の資格を満たすほか、次の①～④のいずれかを満たす者。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①独立行政法人国際交流基金と公益財団法人日本国際教育支援協会が主催する日本語能力試験（JLPT）のN2に合格した者 ②独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験（EJU）の日本語科目450点満点のうち250点以上を得点し、かつ同科目の記述の領域において50点満点のうち30点以上を得点した者 ③日本の大学の学部を卒業した者（卒業見込を含む。）又は日本の大学院を修了した者（修了見込を含む。） ※ただし、日本語以外の言語による授業のみで卒業（修了）可能なプログラム（コース）を卒業・修了した者（見込を含む）は対象外とする。 ④本研究科において、上記①又は②と同等以上の日本語能力を有すると認められた者 <p>【出願資格審査について】 出願資格④による出願を希望する（本研究科において出願資格を審査する必要がある）場合は、出願開始日の2か月前までに教務センター（大学院事務担当）まで問い合わせてください。</p>
<p>卒業生特別選抜</p>	<p>一般選抜の出願資格を満たすほか、以下の①②に該当する者。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①本学工学部を2024年度以降に卒業した者 ②本学工学部の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.5以上の者

試験区分	出 願 資 格	
一般選抜	<p>次の①～⑧のいずれかに該当する者又は2027年3月31日までに該当する見込みのある者。</p> <p>①修士の学位又は専門職学位を有する者 ②外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者 ③外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者 ④我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者 ⑤国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者 ⑥大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科が当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者 ⑦文部科学大臣の指定した者 ⑧本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者</p> <p>【出願資格審査について】 出願資格⑥⑧による出願を希望する（本研究科において出願資格を審査する必要がある）場合は、出願開始日の2か月前までに教務センター（大学院事務担当）まで問い合わせてください。</p>	
社会人選抜	<p>一般選抜の出願資格を満たすほか、次の出願資格を満たす者。</p> <p>・入学時に社会人として2年以上の実務経験を有する者</p>	
全試験区分共通 外国人留学生のみ	日本語による授業の履修を希望する場合	英語による授業の履修を希望する場合
	<p>出願する試験区分の出願資格を満たすほか、次の①～④のいずれかを満たす者。</p> <p>①独立行政法人国際交流基金と公益財団法人日本国際教育支援協会が主催する日本語能力試験（JLPT）のN2に合格した者 ②独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験（EJU）の日本語科目450点満点のうち250点以上を得点し、かつ同科目の記述の領域において50点満点のうち30点以上を得点した者 ③日本の大学の学部を卒業した者（卒業見込を含む。）又は日本の大学院を修了した者（修了見込を含む。） ※ただし、日本語以外の言語による授業のみで卒業（修了）可能なプログラム（コース）を卒業・修了した者（見込みを含む）は対象外とする。 ④本研究科において、上記①又は②と同等以上の日本語能力を有すると認めた者</p> <p>【出願資格審査について】 出願資格④による出願を希望する（本研究科において出願資格を審査する必要がある）場合は、出願開始日の2か月前までに教務センター（大学院事務担当）まで問い合わせてください。</p>	<p>出願する試験区分の出願資格を満たすほか、次の①～③のいずれかを満たす者。</p> <p>① TOEIC®Listening & Reading Test（IP テスト可）のスコアが790点以上の者 ② TOEFL iBT®テスト（Home Edition 可）のスコアが57点以上（2026年1月20日以前の受験）もしくは3.5以上（2026年1月21日以降の受験）の者 ③ IELTS テスト〈アカデミック・モジュール〉（Online 不可）のスコアが4.0点以上の者</p> <p>※上記①～③については、受験日が出願最終日からさかのぼって2年以内のものとする。 ※②については、Test Date スコアのみを出願スコアの対象とする（MyBest®スコアは対象外）。</p>

4. 研究指導希望教員との事前面談

志願にあたっては、研究指導を希望する教員との事前面談が必要となります。出願期間前に日程の余裕をもって教務センター（大学院事務担当）へ連絡してください。面談日時を調整します。なお、事前面談は、入学後に計画している研究テーマと研究指導希望教員の研究分野の一致を出願前に確認することが目的ですので、研究指導希望教員に対し入学試験対策等の具体的なアドバイスを求めることは差し控えてください。

※中京大学工学部生及び工学研究科修士課程学生は、直接研究指導を希望する教員に連絡を取り面談を受けてください。

5. 選考方法

修士課程

- 一般選抜——①当日の試験（専門科目・口頭試問、計700点満点）及び②英語（英語外部試験の結果、100点満点）の総配点の6割（480点）を合格最低基準点として、得点上位者を選抜します。
 出願書類（出身大学の成績証明書、研究計画書及び論文等）は、口頭試問の評価に含みます。
- 卒業生特別選抜——口頭試問の配点の6割を合格最低基準点として、得点上位者を選抜します。
 出願書類（出身大学の成績証明書、研究計画書及び論文等）は、口頭試問の評価に含みます。

博士後期課程

一般選抜——①当日の試験（専門科目・口頭試問、計200点満点）及び②英語（英語外部試験結果又は自らが英語で執筆した論文、100点満点）の総配点の6割（180点）を合格最低基準点として、得点上位者を選抜します。

出願書類（出身大学院の成績証明書、研究計画書及び論文等）は、口頭試問の評価に含まれます。

社会人選抜——①当日の試験（口頭試問、100点満点）及び②英語（英語外部試験結果又は自らが英語で執筆した論文、100点満点）の総配点の6割（120点）を合格最低基準点として、得点上位者を選抜します。

出願書類（出身大学院の成績証明書、研究計画書、研究業績目録及び論文等）は、口頭試問の評価に含まれます。

6. 試験科目・時間・配点等

修士課程（前期日程:試験は2日間実施）

専攻	試験区分	試験日程・時間		試験科目	配点
機械システム工学	一般	7月3日 (金)	10:00 ～ 12:00	専門科目 次の3科目すべて解答。 ①数学 ②機械システム ③プログラミング 【出題範囲】 ①数学：幾何学、解析学、線形代数学、確率統計学 ②機械システム：機械力学、機械設計製作、電気・電子回路 ③プログラミング：C言語 *すべての分野又は一部の分野から出題。	300
		7月4日 (土) ※1	10:00※2 ～	口頭試問 ・研究業績及び研究計画を中心に口頭試問を行う。 ・機材、資料等すべて持込みなしの口頭のみで実施する。	400
	卒業生特別	7月4日 (土) ※1	10:00※2 ～	口頭試問 ・研究計画及び専門基礎知識を中心に口頭試問を行う。 ・機材、資料等すべて持込みなしの口頭のみで実施する。	400
電気電子工学	一般	7月3日 (金)	10:00 ～ 12:00	専門科目 次の3科目すべて解答。 ①数学 ②電気・電子回路 ③電磁気学 【出題範囲】 ①数学：幾何学、解析学、線形代数学 ②電気・電子回路：科目名が出題範囲を示す ③電磁気学：科目名が出題範囲を示す	300
		7月4日 (土) ※1	10:00※2 ～	口頭試問 ・研究業績及び研究計画を中心に口頭試問を行う。 ・受験生自らパソコンを持参し、それを使用して研究業績及び研究計画を中心とする10分程度のプレゼンテーションを行い、その後、質疑応答を行う。	400
	卒業生特別	7月4日 (土) ※1	10:00※2 ～	口頭試問 ・研究計画及び専門基礎知識を中心に口頭試問を行う。 ・受験生自らパソコンを持参し、それを使用して研究計画を中心とする10分程度のプレゼンテーションを行い、その後、質疑応答を行う。	400
情報工学	一般	7月3日 (金)	10:00 ～ 12:00	専門科目 次の4科目から試験当日3科目選択して解答。 ①数学 ②プログラミング ③計算機基礎 ④メディア応用 【出題範囲】 ①数学：幾何学、線形代数学 ②プログラミング：C言語 ③計算機基礎：アーキテクチャ、デジタル回路、データ構造とアルゴリズム ④メディア応用：映像メディア、音響メディア	300
		7月4日 (土) ※1	10:00※2 ～	口頭試問 ・研究業績及び研究計画を中心に口頭試問を行う。 ・受験生自らパソコンを持参し、それを使用して研究業績及び研究計画を中心とする10分以内のプレゼンテーションを行い、その後、質疑応答を行う。 ・受験生自らが準備した印刷物を配布することを認める。※印刷物の準備部数は5部とする。 ・受験生自らが準備した作品の持ち込みを認める。	400

	卒業生特別	7月4日 (土) ※1	10:00※2 ～	口頭試問 ・研究計画及び専門基礎知識を中心に口頭試問を行う。 ・受験生自らパソコンを持参し、それを使用して研究計画を中心とする10分程度のプレゼンテーションを行い、その後、質疑応答を行う。	400
--	-------	----------------	--------------	---	-----

※1…1日目の試験を欠席した者は、2日目の試験（口頭試問）を受験することはできない。

※2…口頭試問の試験時間は全体の開始時刻であり、受験生により開始時刻及び終了時刻が異なる。

修士課程（後期日程）

専攻	試験区分	試験時間	試験科目	配点
機械システム工学	一般	10:00 ～ 12:00	専門科目 次の3科目すべて解答。 ①数学 ②機械システム ③プログラミング 【出題範囲】 ①数学：幾何学、解析学、線形代数学、確率統計学 ②機械システム：機械力学、機械設計製作、電気・電子回路 ③プログラミング：C言語 *すべての分野又は一部の分野から出題。	300
		13:30～	口頭試問 ・研究業績及び研究計画を中心に口頭試問を行う。 ・機材、資料等すべて持込みなしの口頭のみで実施する。	400
	卒業生特別	13:30～	口頭試問 ・研究計画及び専門基礎知識を中心に口頭試問を行う。 ・機材、資料等すべて持込みなしの口頭のみで実施する。	400
電気電子工学	一般	10:00 ～ 12:00	専門科目 次の3科目すべて解答。 ①数学 ②電気・電子回路 ③電磁気学 【出題範囲】 ①数学：幾何学、解析学、線形代数学 ②電気・電子回路：科目名が出題範囲を示す ③電磁気学：科目名が出題範囲を示す	300
		13:30～	口頭試問 ・研究業績及び研究計画を中心に口頭試問を行う。 ・受験生自らパソコンを持参し、それを使用して研究業績及び研究計画を中心とする10分程度のプレゼンテーションを行い、その後、質疑応答を行う。	400
	卒業生特別	13:30～	口頭試問 ・研究計画及び専門基礎知識を中心に口頭試問を行う。 ・受験生自らパソコンを持参し、それを使用して研究計画を中心とする10分程度のプレゼンテーションを行い、その後、質疑応答を行う。	400
情報工学	一般	10:00 ～ 12:00	専門科目 次の4科目から試験当日3科目選択して解答。 ①数学 ②プログラミング ③計算機基礎 ④メディア応用 【出題範囲】 ①数学：幾何学、線形代数学 ②プログラミング：C言語 ③計算機基礎：アーキテクチャ、デジタル回路、データ構造とアルゴリズム ④メディア応用：映像メディア、音響メディア	300
		13:30～	口頭試問 ・研究業績及び研究計画を中心に口頭試問を行う。 ・受験生自らパソコンを持参し、それを使用して研究業績及び研究計画を中心とする10分以内のプレゼンテーションを行い、その後、質疑応答を行う。 ・受験生自らが準備した印刷物を配布することを認める。※印刷物の準備部数は5部とする。 ・受験生自らが準備した作品の持ち込みを認める。	400
	卒業生特別	13:30～	口頭試問 ・研究計画及び専門基礎知識を中心に口頭試問を行う。 ・受験生自らパソコンを持参し、それを使用して研究計画を中心とする10分程度のプレゼンテーションを行い、その後、質疑応答を行う。	400

口頭試問の試験時間は全体の開始時刻であり、受験生により開始時刻及び終了時刻が異なる。

博士後期課程（前期日程・後期日程共通）

専攻	試験区分	試験時間	試験科目	配点
工学	一般	10:00 ～ 12:00	専門科目 ・出願時に選択した専門領域から出題。 ・複数問から試験当日1問を選択して解答。	100
		13:30～	口頭試問 ・研究業績及び研究計画を中心に口頭試問を行う。 ・受験生自らパソコンを持参し、それを使用して研究業績及び研究計画を中心とする20分程度のプレゼンテーションを行い、その後、質疑応答を行う。 ・受験生自らが準備した印刷物を配布することを認める。 ※印刷物の準備部数は5部とする。 ・受験生自らが準備した作品の持ち込みを認める。	100
	社会人	13:30～	口頭試問 ・研究業績及び研究計画を中心に口頭試問を行う。 ・受験生自らパソコンを持参し、それを使用して研究業績及び研究計画を中心とする20分程度のプレゼンテーションを行い、その後、質疑応答を行う。 ・受験生自らが準備した印刷物を配布することを認める。 ※印刷物の準備部数は5部とする。 ・受験生自らが準備した作品の持ち込みを認める。	100

口頭試問の試験時間は全体の開始時刻であり、受験生により開始時刻及び終了時刻が異なる。

7. 試験当日集合場所・時間

修士課程

専攻	日程	試験区分	
		一般選抜	卒業生特別選抜
機械システム工学 電気電子工学	前期 (1日目)	名古屋キャンパス0号館（センタービル）6階 正面入口〈建物内〉 9:30集合	(1日目なし)
	前期 (2日目)	名古屋キャンパス1号館1階 正面入口〈建物内〉 9:30集合	名古屋キャンパス1号館1階 正面入口〈建物内〉 9:30集合
	後期	名古屋キャンパス1号館1階 正面入口〈建物内〉 9:30集合	名古屋キャンパス1号館1階 正面入口〈建物内〉 13:00集合
情報工学	前期	豊田キャンパス11号館1階ロビー 9:30集合	豊田キャンパス11号館1階ロビー 9:30集合
	後期		豊田キャンパス11号館1階ロビー 13:00集合

博士後期課程

領域	日程	試験区分	
		一般選抜	社会人選抜
機械システム工学 電気電子工学	前期	名古屋キャンパス1号館1階 正面入口〈建物内〉 9:30集合	名古屋キャンパス1号館1階 正面入口〈建物内〉 13:00集合
	後期		
情報工学	前期	豊田キャンパス11号館1階ロビー 9:30集合	豊田キャンパス11号館1階ロビー 13:00集合
	後期		

※建物の場所については、本学公式ホームページに掲載している「名古屋キャンパスマップ」「豊田キャンパスマップ」を参照すること。

Ⅱ. 出願書類・出願方法等

1. 出願書類

【注意事項】

- ①【様式】と記載されている書類は、中京大学公式ホームページ（トップ画面>入試情報>2. 大学院入試>入試要項）からダウンロード可能です。
- ②書類を手書きする場合は、黒色のペン又はボールペンを使用して、明確に記入してください。
- ③英語以外の外国語で記載された書類（卒業証明書・成績証明書等）には日本語訳又は英語訳を添付してください。
- ④書類は全てA4判サイズの用紙に印刷してください。
- ⑤出願後の出願書類の変更はできません。
- ⑥志願にあたっては、研究指導希望教員との事前面談が必要です。出願期間前に日程の余裕をもって教務センター（大学院事務担当）へ連絡してください。面談日時等を調整します。
※中京大学工学部生及び工学研究科修士課程生は、直接研究指導希望教員に連絡を取り面談を受けてください。

書類名称	詳 細
受験票 【様式1】	・【様式1】—受験票の太枠に必要な事項を記入すること。
写真票 【様式2】	・【様式2】—写真票の太枠に必要な事項を記入すること。 ・写真（正面上半身、脱帽、3か月以内に撮影、縦4cm×横3cm）の裏面に氏名を記入し、写真票に貼付すること。
検定料支払完了通知メール	・検定料については、P.14を参照し、支払手続きを行い、支払完了通知メールをA4判サイズの用紙に印刷印刷すること。
志願書 【様式3-1, 3-2】	<ul style="list-style-type: none"> ・【様式3-1】—志願書、【様式3-2】—志願書を使用すること。 ・博士後期課程を志願する外国人留学生のみ英語で記入してもよい。 ・研究指導希望教員に「研究指導希望教員との面談日」欄の記入・捺印を依頼すること。 ・外国人留学生（修士課程志願者）は、出願資格の根拠となる日本語の学力（日本語能力試験等の結果）を記入すること。 ・外国人留学生（博士後期課程志願者）は、日本語又は英語による授業の履修を申し出ることができる。日本語又は英語のいずれか該当するものに○を付し、取得スコア等を記入すること。 ・履歴欄は、該当する履歴についてもれなく記入すること（該当する履歴がない場合は記入不要）。 ・「小学校から大学卒業までの通算修業年限」欄は、以下を参考にして記入すること。 例）日本における義務教育、3年制の高等学校及び4年制大学卒業の場合、「16」年制と記入。 小学校6年制+中学校3年制+高等学校3年制+大学4年制=合計16年制 ・「出願資格に関係しない学歴」欄は、専門学校卒業や編入学前に所属していた学部、研究生等の履歴について記入すること（年月の後のカッコは卒業や退学等の履歴を記入すること）。
研究計画書 【様式4】	<p>〈修士課程志願者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書式自由（ただし、【様式4】—研究計画書表紙をつけること） ・研究課題名、現在までの研究状況（未着手の場合はその旨記載すること）、修士課程進学後の研究計画について記入すること。また、本計画書には研究の背景、研究目的、研究方法を含むこと。 ・表紙を除きA4判サイズの用紙2枚以上を目安とすること。 ・カラー印刷を可とするが、大学が審査委員用にコピーすることがあり、正確に色が再現されないことがある。 <p>〈博士後期課程志願者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書式自由（ただし、【様式4】—研究計画書表紙をつけること） ・研究課題名、博士後期課程進学後の研究計画について記入すること。また、本計画書には研究の背景、研究目的、研究方法を含むこと。 ・表紙を除きA4判サイズの用紙4枚以上を目安とすること。 ・カラー印刷を可とするが、大学が審査委員用にコピーすることがあり、正確に色が再現されないことがある。
論文等 【様式5】	<p>〈修士課程志願者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・希望する場合は、学会参加資料や作品等、過去の業績を提出することができる。ただし、【様式5】—論文等表紙をつけること。 ※上記の業績がない又は提出を希望しない場合は不要。 <p>〈博士後期課程志願者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【様式5】—論文等表紙をつけること。 ・次の①もしくは②を提出すること。 ①修士論文又はこれに代わる業績及びその概要。 ※概要は書式自由、A4判サイズの用紙1枚を目安とすること。 ※修士論文又はこれに代わる業績はコピー可。返却はしない。 ※修士論文又はこれに代わる業績が作成途中である場合は提出不要（ただし、概要は必ず提出すること）。 ②学術雑誌に掲載された論文の別刷り等。 ※コピー可。返却はしない。
研究業績目録	<p>〈博士後期課程社会人選抜志願者のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書式自由。

次ページにつづく

書類名称	詳細
卒業証明書 (含見込)	<p>〈修士課程志願者のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 最終出身大学作成のものを提出すること。 ※中国の教育機関を卒業/修了した者(含見込)は、上記に代わりP.15に記載された書類を提出すること。 ※大学院を修了した者(含見込)は、その修了(見込)証明書又は学位授与証明書を併せて提出すること。
学位授与証明書 又は修了証明書 (含見込)	<p>〈博士後期課程志願者のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 最終出身大学院作成のものを提出すること。 ※中国の教育機関を卒業/修了した者(含見込)は、上記に代わりP.15に記載された書類を提出すること。
成績証明書	<p>〈修士課程志願者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 最終出身大学作成のものを提出すること。 ※中国の教育機関を卒業/修了した者(含見込)は、上記に代わりP.15に記載された書類を提出すること。 ※大学院を修了した者(含見込)は、その成績証明書も併せて提出すること。 <p>〈博士後期課程志願者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 最終出身大学院作成のものを提出すること。 ※中国の教育機関を卒業/修了した者(含見込)は、上記に代わりP.15に記載された書類を提出すること。
英語外部試験 結果(スコア) 又は英語論文	<p>〈修士課程志願者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 次のいずれかのスコア票の写しを提出すること(複数の提出も可)。 TOEIC®L&R (IPテスト可) ……Official Score Certificate又はDigital Official Score Certificateを印刷したもの(IPテストの場合はTest Result*¹) TOEFL iBT® (Home Edition 可) ……Examinee Score Report, Test Taker Score Report *² IELTS <アカデミック・モジュール> (Indicator 不可) ……Test Report Form * 1 本学主催の TOEIC®L&R IPテストを受験した場合は提出不要。ただし、志願書の英語外部試験結果記入欄にスコアに加えて受験年月も必ず記入すること。本学主催のIPテストを受験した者でスコアが不明な場合は、志願書には受験年月のみ記入し、その旨を出願時に教務センター(大学院事務担当)へ申し出ること。 * 2 TOEFL iBT®については、Test Date スコアのみを出願スコアの対象とする(MyBest™ スコアは対象外)。 <p>〈博士後期課程志願者〉</p> <p>(英語外部試験結果を提出する場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> 次のいずれかのスコア票の写しを提出すること(複数の提出も可)。 TOEIC®L&R (IP テスト可) ……Official Score Certificate又はDigital Official Score Certificateを印刷したもの(IP テストの場合はスコアレポート*¹) TOEFL iBT® (Home Edition 可) ……Examinee Score Report, Test Taker Score Report *² IELTS <アカデミック・モジュール> (Indicator 不可) ……Test Report Form * 1 本学主催の TOEIC®L&R IPテストを受験した場合は提出不要。ただし、志願書の英語外部試験結果記入欄にスコアに加えて受験年月も必ず記入すること。本学主催のIPテストを受験した者でスコアが不明な場合は、志願書には受験年月のみ記入し、その旨を出願時に教務センター(大学院事務担当)へ申し出ること。 * 2 TOEFL iBT®については、Test Date スコアのみを出願スコアの対象とする(MyBest® スコアは対象外)。 <p>(英語論文を提出する場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自らが英語で執筆した論文の写しを提出すること。 ※英語外部試験結果及び英語論文の両方の提出可(この場合、高得点のものを合否判定に採用する)。
戸籍抄本等	<p>〈証明書等の氏名と現在の氏名が異なる場合のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 氏名の変更を証明できる書類(戸籍抄本等)を提出すること。
受験票返信用封筒 宛名ラベル【様式6】	<ul style="list-style-type: none"> 長3封筒(120mm×235mm)を準備し、専用ラベル【様式6】—宛名ラベル①を印刷の上、住所・氏名を明確に記入し、封筒に貼付すること。 切手(定形郵便物+速達料金分、2026年5月現在は410円分)を貼付すること。
出願書類送付用封筒 宛名ラベル【様式7】	<ul style="list-style-type: none"> 角2封筒(240mm×332mm)を準備し、専用ラベル【様式7】—宛名ラベル②を印刷の上、志望研究科・専攻、課程、氏名、住所、電話番号を明確に記入し、封筒に貼付すること。

以下は外国人留学生のみ提出してください。

ここでいう外国人留学生とは、出入国管理及び難民認定法において定める在留資格「留学」を有する者、又は入学時に得る予定である者を指します。

書類名称	詳細	
語学に関する書類	<p>日本語の学力に関する書類</p> <ul style="list-style-type: none"> 出願資格の根拠となる書類を提出すること。 例) 日本語能力試験の「合否結果通知」又は「認定結果及び成績に関する証明書」(コピー)、日本留学試験の「成績通知書」(コピー)、大学や大学院の学位授与証明書、成績証明書等 ※コピーを提出する場合、証明する書類の原本をA4判サイズ用紙にコピーして、氏名(カタカナ表記)と出願する研究科・専攻名を右上に記入すること。 ※日本留学試験の成績は、中京大学が日本学生支援機構から直接入手する。 	<p>英語の学力に関する書類</p> <ul style="list-style-type: none"> 出願資格の根拠となる英語の学力を証明する書類を提出すること。 例) TOEIC®Listening & Reading Test (IPテスト可)、TOEFL iBT®テスト (Home Edition可)、IELTSテスト (アカデミック・モジュール) (Online 不可) ※英語による授業のみで大学又は大学院を修了した者は提出を免除する。
住民票又は 在留カード	<p>〈日本国内に在住する者のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 住民票の場合は、国籍・在留資格・在留期間・在留期間の満了日が記載されていることを確認し、出願前3か月以内に発行されたもの(原本)を提出すること。 在留カードの場合は、表面と裏面をA4判サイズ用紙にコピーして提出すること。 ※入学までに在留期間の更新や「留学」への在留資格変更が必要な者は、出願期間開始前に出入国在留管理局に更新や変更条件、必要な申請書類、帰国の要否等を問い合わせて、入学までに行うべきことを自ら確認すること。 	
経費支弁書 【様式8】	<ul style="list-style-type: none"> 【様式8】—経費支弁書を使用すること。 「経費支弁書」に必要事項を記入し、以下預金残高証明書と併せて提出すること。 志願者本人が経費支弁者になることは認めないので注意すること。 経費支弁者が複数人いる場合は、経費支弁書をコピーして使用し、複数枚提出すること。 「経費支弁者署名」欄以外において、経費支弁者が日本語又は英語どちらも堪能でない場合に限り、経費支弁者に代わり、申請者(志願者)自身が必要事項を記入することを認める。 「経費支弁者署名」欄については、必ず経費支弁者本人が記入すること。 ※経費支弁者が海外に居住している場合は、資料を郵送して記入を依頼すること。このとき、出願締切日に注意すること。 	
預金残高証明書	<ul style="list-style-type: none"> 経費支弁者名義の預金残高証明書(金融機関発行の原本)を提出すること。 ※各国政府・中央銀行等において認められた銀行の口座であること。 ※預金者・預金証書番号及び預金額が確認できるものであること。 ※残高として必要な金額: 200万円以上 ※3か月以内に発行されたものであること。 日本語又は英語以外の場合、公的機関等(日本語学校を含む)の証明を受けた日本語訳又は英語訳を添付すること。 「残高証明書のコピー」「保険の証明書」「ネットバンキングにおける利用明細のプリントアウト」等は認めないので注意すること。 必ず金融機関で残高証明書原本(公印あり)を取得すること。 経費支弁者が複数人いる場合は、預金残高証明書をそれぞれ提出すること。 	
パスポートのコピー	<ul style="list-style-type: none"> 顔写真のページのコピーを提出すること。 	
学歴認証に関する証明書 【様式9】	<p>〈中国の教育機関(大学や大学院)を卒業/修了した者(含見込)のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> P.15に記載された証明書を各発行機関から取り寄せること。 【様式9】—学歴認証表紙をつけること。また、【様式9】—学歴認証表紙には、提出する書類にチェックし、中国高等教育学生信息网(CHSI)が発行する第三者閲覧用コード(Online Verification Code)をもれなく記入すること。 	

2. 出願方法・出願上の注意事項

(1) 出願方法

【郵送・窓口持参共通事項】

①角2封筒(240mm×332mm)を準備の上、専用ラベル【様式7】を使用し、出願書類を入れてください。

②出願書類に不備がある場合は出願を受け付けません。

【出願書類を郵送する場合】

- ・出願期間最終日の消印有効とします。
- ・「速達の簡易書留郵便」で送付してください。
- ・豊田キャンパス設置研究科・専攻に出願される場合も、名古屋キャンパス教務センター(大学院事務担当)宛(【様式7】に印字された宛先)に送付してください。

【出願書類を大学窓口に持参する場合】

・名古屋・豊田両キャンパスの教務センター(大学院事務担当)窓口(以下)で出願を受け付けます。

〈教務センター(大学院事務担当)のご案内〉

名古屋キャンパス：名古屋市中区八事本町101-2 5号館1階

豊田キャンパス：豊田市貝津町床立101 11号館1階

※両キャンパスとも受付時間は平日の9：00～17：00です。時間外の受付はできませんので注意してください。

※学部の入学試験日(2月上旬)は、構内立入禁止のため、総務課窓口で出願を受け付けることがあります。

(2) 検定料

①検定料の納付方法はオンライン決済です。金額は下表を参照してください。

※別途、オンライン決済手数料が必要です。納付方法の詳細は、以下のマニュアルを確認してください。

中京大学公式ホームページトップ画面>入試情報>2. 大学院入試>入試要項>【大学院】入試検定料支払方法

<https://www.chukyo-u.ac.jp/admissions/a2.html>

出願する課程	対象者	検定料
修士課程	中京大学の学部 ¹ に在籍する者及び卒業した者	10,000円
	中京大学 ² 以外の大学の学部 ¹ に在籍する者及び卒業した者	35,000円
博士後期課程	すべての者	35,000円

②支払完了の旨が記載された通知メールをA4判サイズ用紙に印刷し、願書に同封してください。

③現金や為替を封入、他の金融機関での振込、及びATMによる振込は受け付けることができません。

④手数料は本人負担となります。支払われた検定料は返還できませんのでご了承ください。

⑤支払完了の旨が記載されたメールは、大学発行の領収書とみなしますので大切に保管してください。

⑥検定料納付期間は、出願開始日の一週間前から、出願締切日までです。出願締切日までに検定料の納付が確認できない場合は、出願を受付できません。

(3) 研究指導教員の決定

志願書の「研究指導希望教員名」欄に、希望する研究指導教員名を記入してください。希望する研究指導教員を決定するにあたっては、大学院入学試験要項(本冊子)P.20～21内の「教員組織」を必ず確認してください(教員の専門分野の詳細は、中京大学公式ホームページ掲載情報を参考にしてください)。

ただし、研究指導教員は、入学後の研究希望内容に基づき研究科が決定しますので、必ずしも志願書に記入された希望教員に決定するとは限りません。また、入学後に、研究指導教員の休職や退職、研究内容の変更等のやむを得ない事由が生じた場合は、研究指導教員を変更する場合がありますので、予めご了承ください。

(4) 修学及び受験に際して特別な配慮を要する方へ

中京大学では、障がい等により、受験及び修学に際して配慮を希望する方からの相談を随時受け付けています。なお、相談の内容によっては、出願前に志願者本人(及び保護者)に面談を依頼することがありますので予めご了承ください。

※この面談は、受験上及び修学上の配慮について確認するものであり、合否判定等とは一切関係ありません。

出願の検討段階での相談でも構いませんので、出願前に時間に余裕をもって教務センター(大学院事務担当)まで申し出てください。特に、受験に際しての配慮を希望される方は、出願開始の4週間前までに必ず連絡してください。

(5) 中国の教育機関を卒業／修了した方へ（含見込）

中国の教育機関（大学・大学院）を卒業／修了した方（含見込）は、以下の（Ⅰ）、（Ⅱ）に関する証明書を提出してください。

(Ⅰ) 卒業（見込）証明書又は修了（見込）証明書

出身大学／大学院が発行する証明書の代わりに、中国高等教育学生信息网（CHSI）が発行する以下の書類

①、②の両方を提出してください。

〈大学又は大学院を卒業／修了した者〉

①「中国高等教育学位在线验证报告」の写し

②「Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate」の写し（上記①の英語版）

〈大学又は大学院に在学中の者〉

①「教育部学籍在线验证报告」の写し

②「Online Verification Report of Student Record」の写し（上記①の英語版）

※大学又は大学院に在学中の者は、大学を卒業後（又は大学院を修了後）すみやかにCHSIに申請をし、取得した書類を教務センター（大学院事務担当）に送付してください。

(Ⅱ) 成績（見込）証明書

以下①～③のいずれかの証明書を提出してください。

①最終出身大学が発行した成績証明書の原本（日本語又は英語で作成されたもの）

②中国高等教育学生信息网（CHSI）が発行した「Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript」の写し

③CHSI 日本代理機構が発行した「成績認証報告書」の原本（英語で作成されたもので、日本代理機構から郵送あるいはデータ送付されたもの）

【中国高等教育学生信息网（CHSI）の利用方法について】

CHSIのWebサイトに登録し、該当書類をPDFファイルで入手後、A4判サイズの用紙に印刷してください。

中国高等教育学生信息网（CHSI） <https://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp>

なお、第三者（大学）がCHSIのWeb認証を閲覧できるよう、閲覧用のコード（Online Verification Code）を提出書類の「学歴認証表紙」の指定欄に記入してください。また、提出時点でWeb認証の有効期限が20日以上残っていることを確認してください。

【CHSI日本代理機構の利用方法について】

CHSI日本代理機構のWebサイトより、該当書類の申請方法を確認し、機構から受け取った証明書を提出してください。

CHSI日本代理機構 <http://www.chsi.jp/shinseikojin.html>

【証明書の翻訳について】

中国語で作成された証明書には、その証明書の原本に加えて、日本語又は英語による翻訳の提出が必要です。

(6) 外国人留学生の受入に係る安全保障輸出管理

中京大学では、「外国為替及び外国貿易法（外為法）」に基づき、安全保障輸出管理の観点から規程を定めており、これに沿って外国人留学生の受入の審査を行っています。

その審査結果によっては希望する教育が受けられない・研究ができない場合がありますので、予めご了解ください。

Ⅲ. 受験・合格発表・入学手続等

1. 受験票の受取り

- ① 受験票は出願期間締切後、郵送します。
- ② 受験票が試験日の3日前になっても届かない場合は、教務センター（大学院事務担当）TEL（052）835-9863へ連絡してください。
- ③ 受験票を紛失した場合や忘れた場合は、試験当日に中京大学大学院入試担当係員に申し出て、「仮受験票発行」の手続をとってください。

2. 試験当日の注意事項（持ち物含む）

(1) 持参するもの

- ① 受験票 ● 受験票を紛失した・忘れた場合、又は出発時までに受験票が届かなかった場合は、試験当日に中京大学大学院入試担当係員に申し出てください。
- ② 筆記用具 ● HBの黒鉛筆又はシャープペンシル、プラスチック消しゴム
※下敷き、定規、コンパス等の使用は認めません。
- ③ 時計 ● 試験会場（試験室）には時計がありません。
● 時計以外の機能が付いたものの使用は認めません（タイマーや大型時計の使用も認めません）。また、携帯電話（スマートフォン含む）を時計として使用することもできません。

(2) 試験室への案内

- ① 試験開始30分前までに、本冊子に記載する集合場所に集合してください。なお、試験室への案内は、掲示・大学院入試担当係員の誘導などにより行います。
※集合場所は「Ⅰ 入学定員・入試日程・出願資格・試験科目等」の「7. 試験当日集合場所・時間」を参照してください。
※前日に試験室を下見することはできません。
- ② 試験の注意事項をアナウンスするため、試験開始10分前までに所定の試験室、座席に着くようにしてください。
- ③ 各試験会場内は禁煙とします。

(3) 遅刻について

私的な理由による遅刻については試験開始後20分まで入室を認めます。それ以降の入室は一切認めません。なお、時間延長等の特別措置はありません。公共交通機関の遅延によって試験に遅れる場合は、遅延証明書を持参してください。

(4) 自然災害、火災、停電、その他不可抗力による事故等が発生した場合の対応について

地震、台風等の自然災害や火災、停電、その他不可抗力による事故等が発生した場合、試験開始時刻の繰下げ、試験の延期等の措置をとることがあります（試験開始時刻を繰り下げた場合、最終終了時刻を変更すること、また試験時間を確保するために休憩時間を調整することがあります）。

予め対応を通知できる場合は、中京大学公式ホームページのトップ画面（以下）に掲載しますので、出願前や受験前に必ず確認してください。

中京大学公式ホームページ <https://www.chukyo-u.ac.jp/>

ただし、それによって生じた受験生負担の費用、その他個人的損害について、本学はその責任を一切負いません。また、試験延期の措置をとる場合（一部の受験生のみでの延期を含む）、可否通知発送日もそれに伴い延期することがあります。

〈受験生個人に発生した不測の事態への対応について〉

試験当日に、受験生本人に不測の事態が発生し、試験開始時刻に間に合わない場合は、中京大学教務センター（大学院事務担当）（次ページ）まで連絡してください。不測の事態の内容等（理由を含む）を確認した上でその後の対応について案内します。

(5) 学校保健安全法で出席停止が定められている感染症に罹患した場合等の対応について

インフルエンザをはじめとする学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（対象となる感染症については、学校保健安全法施行規則をご確認ください）に罹患した場合又はその疑いがある場合は、他の受験生や監督者等への感染のおそれがありますので、原則として受験を控えてください。また、学校保健安全法施行細則に記載されていない感染症に関しても、WHOや厚生労働省等による指針等に基づく対応を取る場合があることをご確認ください。ただし、症状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められた場合は、この限りではありません。

上記の理由により受験ができない場合は、それが判明次第すみやかに（遅くとも入学試験当日の午前9時まで）に中京大学教務センター（大学院事務担当）（以下）まで連絡してください。

中京大学教務センター（大学院事務担当）

受験会場が名古屋キャンパスの場合 : TEL (052) 835-9863 (直通)

受験会場が豊田キャンパスの場合 : TEL (0565) 46-6141 (直通)

3. 合格発表（可否通知発送）

① 可否通知発送日（本冊子「I 入学定員・入試日程・出願資格・試験科目等」の「2. 入試日程」参照）に可否通知を発送します。

② 合格者の入学手続書類は、合格通知書とともに郵送します。

4. 入学手続

入学手続に必要な書類は、合格通知書に同封して郵送します。

入学手続は「第一次入学手続」と「最終入学手続」の二段階納付方式です。詳しくは合格通知書同封の『入学手続要項』を確認してください。

※後期日程は、二段階納付方式ではなく、第一次入学手続と最終入学手続が同一期間となります。詳細は本冊子「I 入学定員・入試日程・出願資格・試験科目等」の「2. 入試日程」を参照してください。

5. 入学試験の成績開示

本学を受験された方の入学試験成績を、受験生本人から請求があった場合に限り開示します。開示を希望する方は、以下の要領で申し込んでください。

(1) 開示対象の試験区分と開示内容

科目別得点（評価）、総合得点、合格最低点

(2) 開示請求期間

2027年5月6日（木）～2027年5月20日（木）〈消印有効〉

(3) 開示方法

希望する宛先に入学試験成績開示書を「簡易書留郵便」で親展にて送付します（2027年6月初旬送付予定）。

(4) 請求者

受験生本人に限ります。本人確認のため入学試験受験票を請求時に提出してください。

(5) 申込み方法

① 中京大学教学部教務センター（大学院事務担当）宛に、「大学院入試成績開示請求」というタイトルでEメールを送信してください。開示手数料（500円）の納付方法についてEメールを返信して連絡します。

② 開示手数料納付後、以下の書類等を封筒に入れ、表面に「大学院入試成績開示請求」と朱書きして、「簡易書留郵便」で教務センター（大学院事務担当）宛に送付してください。

・入学試験成績開示請求書

「入学試験成績の開示を希望する」旨と研究科・専攻・課程、試験区分、入学時期、受験番号、氏名、フリガナ、郵便番号、住所、電話番号をA4判サイズの用紙に記入の上、捺印すること。

・開示を希望する入学試験受験票（コピー不可。入学試験成績開示書とともに返送します。）

・住民票の写し（送付先が受験票記載の住所と異なる場合）

(6) 書類の送付・問合わせ先

〒466-8666 名古屋市昭和区八事本町101-2 中京大学教務センター（大学院事務担当） TEL (052) 835-9863
メールアドレス gs-office [at] ml.chukyo-u.ac.jp ※ [at] を「@」に置き換えてください

IV. 学費・経済支援等

1. 学費等

※以下の内容は事情により改定することがあります。

(単位：円)

	入学金	授業料	教育充実費	実験実習費	年額計	入学時納付金
修士課程	200,000	505,000	245,000	150,000	1,100,000	650,000
博士後期課程	200,000	505,000	245,000	150,000	1,100,000	650,000

【補足事項】

- ①修士課程の2年次納付金は、1年次と同額です（入学金を除く）。
- ②博士後期課程の2年次及び3年次の納付金は、1年次と同額です（入学金を除く）。
- ③「入学金」は入学時のみ納付、「授業料」、「教育充実費」及び「実験実習費」は春学期・秋学期の2回に分けて納付します。ただし、入学時の春学期分については、入学時納付金に含まれます。
- ④入学後、いくつかの特定科目の履修に際して別途履修費及び実習費を徴収することがあります。
- ⑤入学辞退手続締切日までに入学辞退手続をした場合、入学時納付金のうち、入学金を除くその他の納付金を返還します。

2. 経済支援等

奨学金制度は、年度ごとに変更が生じる場合があります。中京大学公式ホームページにて最新情報を確認してください。

■中京大学奨学金

大学院奨学金
大学院進学奨学金 [減免] <ul style="list-style-type: none">・中京大学卒業生が中京大学大学院博士前期課程（修士課程）に進学する場合、入学金20万円を2万円に減額。さらに、入学後第1セメスターの教育充実費を半額に減額。・中京大学博士前期課程（修士課程）学生が同一の専攻の博士後期課程に進学する場合、入学金を免除。・中京大学卒業生が、中京大学大学院博士後期課程に進学する場合、入学金を半額に減額。さらに、入学後第1セメスターの教育充実費を半額に減額。
経済支援奨学金
①教育資金融資援助奨学金 [給付] <p>金融機関の教育ローンを利用して学費の全部又は一部を納付している学生に対して、その教育ローンの年間利子の一部又は全額を給付（年1回、教育資金融資金のうち対象となる額は200万円を上限とする）。</p>
②緊急支援奨学金 [給付] <p>学業に精励しているが、主たる生計維持者の死亡・高度障害又は失職（解雇・倒産）などによる家計事情で修学が困難となった学生に対して、30万円を給付（1回のみ）。</p>
③災害支援奨学金 [給付] <p>学業に精励しているが、大学に登録している保証人（父母あるいは主たる生計維持者）が所有する住居の火災や風水害、地震等による被害を受けた学生に対し、20万円を給付（同一事由による給付は1回のみ）。</p>

活動支援奨学金

①学術・文化・スポーツ奨学金 [給付]

中京大学の「建学の精神」に則り、学術文化又はスポーツにおいて優秀な成績を収めている学生に対して、入学金の全額又は入学金の全額と授業料（教育充実費含む）の全額もしくは半額を給付。

〈採用人数〉若干名 対象：校友会員

②交換・認定留学給付奨学金 [給付]

所定の学力基準を満たした交換及び認定留学生に対して、奨学金（月額最大12万円×留学期間）を給付。

※学力や留学先によって給付金額は異なります。

〈採用人数〉設定なし

③交換・認定・政府等奨学金留学学費減免 [減免]

留学期間中の中京大学学費のうち、交換留学又は政府等奨学金留学に参加する学生に対して授業料の半額を減額（要件なし）し、認定留学に参加する学生に対しては授業料の全額を免除（要件なし）。

〈採用人数〉設定なし

④セメスター留学学費減免 [減免]

グローバル交流センターが主催するセメスター留学に参加する学生に対して、留学期間中の中京大学学費のうち、授業料の全額を免除（要件あり）又は半額を減額（要件なし）。

〈採用人数〉設定なし

⑤中京大学チャレンジ奨励金 [給付]

社会貢献・社会課題の解決につながることを期待され、学生のチャレンジ精神が発揮される活動を対象とし、最大50万円を給付。

〈採用人数〉設定なし

外国人留学生奨学金・学費減免

①外国人留学生給費奨学金 [給付]

教育・研究を通じて国際相互理解を図ることを目的とし、学業成績が優れているが経済的事情のため修学が困難な私費外国人留学生（出入国管理及び難民認定法において定める在留資格「留学」を有する正規留学生）に対して、月額65,000円を給付（学業成績による選考あり）。

〈採用人数〉10名（半期）

②外国人留学生学費減免 [減免]

学業に精励している外国人留学生（出入国管理及び難民認定法において定める在留資格「留学」を有する正規留学生）に対して、修学を支援するために博士前期課程（修士課程）学生は入学後2年間、博士後期課程学生は3年間にわたり、授業料の3割にあたる金額を減額。ただし、国費外国人留学生及び外国政府派遣留学生を除く。

■学外 奨学金

①日本学生支援機構（JASSO）奨学金 [貸与]

勉学意欲が高く、高度な研究能力を持ち、経済的理由により修学が困難であると認められた学生に対して、無利子又は有利子で奨学金を貸与。

詳細は日本学生支援機構ホームページ及び中京大学公式ホームページをご確認ください。

②服部国際奨学財団奨学金 [給付]

公益財団法人服部国際奨学財団より、意欲が高く成績優秀な外国人留学生に対して、月額12万円を2年間給付（毎年継続の審査あり）。

〈採用人数〉若干名

V. 教員組織

工学研究科長 橋 本 学
工学副研究科長 青 森 久

機械システム工学専攻

修士課程	教授	青木	公也	画像情報論基礎セミナー
	教授	石原	彰人	神経情報処理論基礎セミナー
	教授	加納	政芳	ロボット知能論セミナー
	教授	木野	仁	機械情報学基礎 2
	教授	清水	優	知能機械開発論基礎セミナー
	教授	野浪	亨	環境材料工学セミナー
	教授	橋本	学	画像センシング論応用セミナー
	教授	森島	昭男	★ メカトロニクス論セミナー
	准教授	王	建国	★ 生産システム論基礎セミナー
	講師	秋月	秀一	情報計測学基礎 2
	講師	杉野	貴明	機械システム工学特別実験及び演習1~4

電気電子工学専攻

修士課程	教授	青森	久	画像工学特論	
	教授	磯	直行	★ デジタルシステム設計セミナー	
	教授	高坂	拓司	非線形システム特論	
	教授	須田	潤	★ 光エレクトロニクスセミナー	
	教授	竹村	暢康	電波応用工学	
	教授	田口	博久	量子力学セミナー	
	教授	中村	久栄	電気電子工学特別実験及び演習1~4	
	教授	ハルトノ	ピトヨ	ピーター	技術表現論
	教授	村中	崇信	プラズマ工学セミナー	
	准教授	平名	計在	★ システム制御工学セミナー	
	講師	藤田	実沙	統計的学習論	

情報工学専攻

修士課程	教授	伊藤	秀昭	データベース論セミナー
	教授	大泉	和文	インスタレーション・アート論セミナー
	教授	小笠原	秀美	★ 知識情報運用論セミナー
	教授	鬼頭	信貴	計算機アーキテクチャ論セミナー
	教授	鈴木	常彦	★ 情報ネットワーク設計運用論セミナー
	教授	瀧	剛志	可視化シミュレーション論セミナー
	教授	宮崎	慎也	画像メディア基礎 2
	教授	目加田	慶人	パターン認識論セミナー
	教授	山崎	康広	ソフトウェア設計論セミナー
	教授	山田	雅之	知能システム論セミナー
	教授	ラシキア	城治	ソフトウェア開発論セミナー
	准教授	上芝	智裕	★ 情報デザイン論セミナー
	准教授	曾我部	哲也	メディア・アート論セミナー
	准教授	道満	恵介	コンピュータ・ビジョンセミナー
	准教授	中	貴俊	ネットワーク・メディア論セミナー
	准教授	正木	彰伍	計算機システム基礎1
	准教授	村田	晴美	音楽情報論セミナー
	准教授	兼松	篤子	コラボレーション論セミナー
	准教授	董	然	コンピュータ・グラフィックスセミナー
	講師	村田	匡輝	★ 知識情報処理論セミナー

★…指導教員として選択できません。

※上記は2026年5月現在の教員組織です。

各教員の研究分野については、中京大学公式ホームページ掲載情報を参考にしてください。

工学専攻機械システム工学領域

博士後期課程	教授	青木	公也	機械システム工学特論Ⅱ、新機能創成工学特論Ⅰ
	教授	石原	彰人	機械システム工学特論Ⅱ
	教授	加納	政芳	機械システム工学特論Ⅰ、新機能創成工学特論Ⅱ
	教授	木野	仁	機械システム工学特論Ⅱ
	教授	清水	優	機械システム工学特殊演習 1
	教授	野浪	亨	機械システム工学特論Ⅰ、新機能創成工学特論Ⅰ
	教授	橋本	学	機械システム工学特論Ⅱ、新機能創成工学特論Ⅰ
	教授	森島	昭男	★ (講義科目担当のみ)
	講師	秋月	秀一	機械システム工学特論Ⅰ
	講師	杉野	貴明	★ (講義科目担当のみ)

工学専攻電気電子工学領域

博士後期課程	教授	青森	久	電気電子工学特論Ⅱ、新機能創成工学特論Ⅱ	
	教授	磯	直行	★ 電気電子工学特論Ⅱ	
	教授	高坂	拓司	電気電子工学特論Ⅰ	
	教授	須田	潤	★ 電気電子工学特論Ⅰ	
	教授	竹村	暢康	★ (講義科目担当のみ)	
	教授	田口	博久	電気電子工学特論Ⅰ	
	教授	中村	久栄	★ (講義科目担当のみ)	
	教授	ハルトノ	ピトヨ	ピーター	電気電子工学特論Ⅱ、新機能創成工学特論Ⅰ
	教授	村中	崇信	電気電子工学特論Ⅰ	
	准教授	平名	計在	★ 電気電子工学特論Ⅱ	
	講師	藤田	実沙	★ (講義科目担当のみ)	

工学専攻情報工学領域

博士後期課程	教授	伊藤	秀昭	情報工学特論Ⅰ、新機能創成工学特論Ⅰ
	教授	大泉	和文	情報工学特論Ⅱ
	教授	小笠原	秀美	★ 情報工学特論Ⅰ
	教授	鬼頭	信貴	情報工学特論Ⅰ
	教授	瀧	剛志	情報工学特論Ⅱ、新機能創成工学特論Ⅱ
	教授	宮崎	慎也	情報工学特論Ⅱ、新機能創成工学特論Ⅱ
	教授	目加田	慶人	情報工学特論Ⅰ、新機能創成工学特論Ⅰ
	教授	山崎	康広	(研究指導担当教員)
	教授	山田	雅之	情報工学特論Ⅰ、新機能創成工学特論Ⅰ
	教授	ラシキア	城治	情報工学特殊演習 1
	准教授	曾我部	哲也	★ (講義科目担当のみ)
	准教授	道満	恵介	★ 情報工学特論Ⅰ
	准教授	中	貴俊	★ 情報工学特論Ⅱ
	准教授	正木	彰伍	★ (講義科目担当のみ)
	准教授	村田	晴美	★ 情報工学特論Ⅰ
	准教授	兼松	篤子	★ (講義科目担当のみ)
	准教授	董	然	★ (講義科目担当のみ)
	講師	村田	匡輝	★ (講義科目担当のみ)

★…指導教員として選択できません。
※上記は2026年5月現在の教員組織です。

各教員の研究分野については、中京大学公式ホームページ掲載情報を参考にしてください。

名古屋キャンパス

(機械システム工学専攻・電気電子工学専攻・工学専攻※)

〒466-8666 愛知県名古屋市昭和区八事本町101-2

豊田キャンパス

(情報工学専攻・工学専攻※)

〒470-0393 愛知県豊田市貝津町床立101

※…工学研究科工学専攻博士後期課程は研究の領域により通学するキャンパスが異なります。

入試に関する問い合わせ

中京大学 教務センター (大学院事務担当)

TEL (052) 835-9863 窓口 名古屋キャンパス5号館1階 豊田キャンパス：11号館1階

<受付時間> 平日 9:00~17:00

メールアドレス gs-office [at] ml.chukyo-u.ac.jp ※ [at] を「@」に置き換えてください

★この要項は2026年5月現在に確認できる内容に基づいて作成しています。このため、入学時には専任教員等を変更する可能性があります。